



岸和田市立八木南小学校 校長室だより

「日日の善行」(ひびのぜんこう)

学校教育目標 **かしこく やさしく たくましく**
めざす学校像 **だれもが主役になれる学校**



校長
山下善久

令和5年5月31日

皆様もご存じのように、近畿地方は5月29日(月)に梅雨入りいたしました。これは平年とくらべて、1週間程度早い梅雨入りだそうです。例年の梅雨入りは梅雨前線の北上によって九州南部のほうから発表されることが多いのですが、今年は大陸から梅雨前線が伸びて、いきなり本州の真ん中に停滞前線が発生しました。

それに加えて、台風2号や高気圧をまわる湿った空気の影響で前線が活発化して、しばらく雨が続く地域では、このように例年よりも早い梅雨入りとなったのだそうです。

梅雨入りして、私がいちばん気になるのは、子どもたちの雨の日の過ごし方です。雨の日は外で遊べないため、室内で静かに過ごしてくれればいいのですが、本校の元気いっぱい子どもたちにとって、長く雨が続くことは、大きなストレスが溜まっていく原因になると思います。またゲームやタブレットばかりに時間をかけることも良くありません。したがって、外で遊びにくいこの時期こそ、学校やご家庭において、子どもたちに読書の習慣を根づかせることができればと思います。

読書を活発に行うことで、子どもたちのストレスを和らげるとともに、学力の向上にもつながるので、子どもたちに読書の習慣を根付かせることが、子どもたちの成長において、大いにプラスになることは、これまでの研究において明白なのです。

ではどうやって読書に没頭させるかという、以下の3つの条件が大切です。

① 30分以上の時間を用意する

できるだけリラックスした状態のほうが集中力が高まるので、夕食後や就寝前に、30分以上の読書時間を確保できれば最適です。

② 静かな空間で読む

周りがうるさいと、なかなか読書に集中できません。できるだけ静かなところが最適です。

③ 「ちょうどいい」本を読む

「好み」と「レベル」に合った本を選んで読むことが大切です。好きじゃない本を無理やり読んで、夢中になれません。挫折すると読書嫌いの原因になってしまうことも少なくありません。



保護者に皆さまにおかれましては、ぜひ、この三つの条件を大切に、子どもたちが読書に夢中になれるように、ご家庭でのご協力をよろしくお願いいたします。